

平成 29 年 1 月 23 日

放射線災害に関する国際シンポジウムを開催します

このたび、広島大学では以下のとおり放射線災害に関する国際シンポジウム等を開催します。

広島大学、長崎大学、福島県立医科大学によって平成 28 年 4 月に設置されたネットワーク型拠点「放射線災害・医科学研究拠点」では、「県民公開大学」を福島市で、「第 1 回国際シンポジウム」を広島市で開催します。

本拠点の事業は、3 大学がネットワーク型拠点の特徴を活かし、研究チームを創設して、放射線災害・医科学研究に積極的に取り組む機関連携事業と共に力を注いでいる事業です。

また、広島大学大学院放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムでは、「産学官コンソーシアム第 2 回国際シンポジウム」を東京で、「第 6 回国際シンポジウム」を広島市で開催します。

本プログラムは、より実践的な能力を身につけるため、インターンシップなど産学官の協力を得ながら、幅広い学際的な知識を基盤として放射線災害に適切に対応し、明確な理念の下で復興を指導できる判断力と行動力を有した、国際的に活躍できるグローバルリーダー（フェニックスリーダー）の育成に取り組んでいます。

記

<放射線災害・医科学研究拠点主催>

県民公開大学

日 時：平成 29 年 2 月 4 日（土） 13：30～16：30

場 所：ホテル福島グリーンパレス（福島市太田町 13-53）

東日本大震災・福島原子力発電所事故から 6 年を迎え、「復興学 ～東日本大震災・福島原発事故から未来に向けて～」をテーマに、福島の今について「復興」の観点から有識者による講演と、放射線災害等を経験した広島・長崎・福島の研究者による発表及び意見交換を行います。

過去の放射線災害等からの復興に向けた取り組みから得られた知見を一般参加者と共有することにより、今後の復興の一助とすることを目的とします。

第 1 回国際シンポジウム

日 時：平成 29 年 2 月 21 日（火） 13：30～18：50

2 月 22 日（水） 9：30～12：45

場 所：広島大学広仁会館（霞キャンパス内）

「Scientific Underpinning for Restoration from a Radiation Disaster（放射線災害からの復興を支える科学的基盤）」をテーマに、アメリカ、ロシア、フランス、ドイツなどの研究者を交え、講演やセッション、ポスター発表を行います。

放射線や関連諸科学の分野で世界的に著名な研究者による最先端の学術成果を踏まえ、更なる放射線災害・医科学研究の学術的基盤の確立を目指します。

<フェニックスリーダー育成プログラム主催>

産学官コンソーシアム第2回国際シンポジウム

日 時：平成29年2月9日（木）10：00～18：30

場 所：東京国際フォーラム ホールD5（東京都千代田区丸の内3-5-1）

事前申込：必要（平成29年1月末までにお申し込みください。先着50名）

これまでに連携を築いてきた国内外の放射線関連機関や企業等をはじめ、多くの参加者にお集まりいただき、放射線災害から社会を護る人材育成のあり方や、育成した人材の活用等について議論し、今後の社会の安心を支える国際的なネットワークの構築を目指します。

第6回国際シンポジウム

日 時：（第1日）平成29年2月11日（土）12：30～18：30

大学院生口頭発表・フラッシュ発表・ポスター発表

（第2日）平成29年2月12日（日）10：00～17：30

基調講演・講演・パネルディスカッション

場 所：広島大学霞キャンパス広仁会館（広島県広島市南区霞1-2-3）

事前申込：必要（当日の受付も可能）

<申込先>：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/phoenixlp> から

国際放射線防護委員会等、国内外から専門家を招き講演いただくとともに、パネルディスカッションでは国際機関から論者が集結し、参加者の皆様と議論を展開することで復興過程における「仲介者」の役割についての新たな知見が得られることを期待します。

【お問い合わせ先】

「放射線災害・医科学研究拠点」に関するお問い合わせ

広島大学霞地区運営支援部研究支援グループ

TEL：082-257-5186 FAX：082-257-1703

「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」

に関するお問い合わせ

広島大学教育室コラボレーションオフィス フェニックスプログラム事務室

TEL：082-424-2282 FAX：082-424-6821

Email：phoenix-program@office.hiroshima-u.ac.jp

県民公開大学

復興学

～ 東日本大震災・福島原発事故から未来に向けて～

東日本大震災・福島原子力発電所事故から6年。
福島の今について「復興」の観点から有識者の皆さまにご講演いただきます。
また、放射線災害等を経験した広島・長崎・福島の研究者による
発表及び意見交換を行います。

入場無料
(事前登録制)

参加者には受講証を発行します

日時

平成
29年

2月4日(土)

13:30～16:30 (13:00～受付開始)

会場

ホテル福島グリーンパレス

住所：福島県福島市
太田町13-53
(福島駅西口徒歩2分)

電話：024-533-1171



プログラム

開会

福島県立医科大学理事長挨拶
福島県知事挨拶

【特別講演1】

「被災地からの脱却を目指して」

川内村村長 遠藤 雄幸



【特別講演2】

「オーダーメイドの復興を」

NHK解説委員 柳澤 秀夫



【発表・パネルディスカッション】

発表者

広島大学副理事

山内 雅弥

長崎大学名誉教授

関根 一郎

福島県立医科大学理事長特別補佐

竹之下 誠一

コーディネーター

福島県立医科大学副理事長

谷川 攻一

閉会挨拶

閉会

■ 申込方法

申込用紙(裏面)により、メール(rs@fmu.ac.jp)またはFAX(024-581-5163)にてお申し込みください。申込用紙はウェブサイトからダウンロードすることもできます。

(URL) <http://home.hiroshima-u.ac.jp/housai/>

■ お問い合わせ

福島県立医科大学 医療研究推進課 研究推進係

TEL: 024-547-1794 FAX: 024-581-5163

E-mail: rs@fmu.ac.jp



主催 放射線災害・医科学研究拠点(福島県立医科大学、広島大学、長崎大学)

後援 復興庁、福島県、福島県市長会、福島県町村会、福島県医師会、公益社団法人福島県看護協会、アカデミア・コンソーシアムふくしま、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島

県民公開大学

復興学

～ 東日本大震災・福島原発事故から未来に向けて～

参加申込書

企業・団体・学校名等 <small>(個人での参加の場合は記載不要です)</small>		
業種 <small>(学校・個人での参加の場合は記載不要です)</small>		
参加者	所属・役職・学年 <small>(個人での参加の場合は記載不要です)</small>	御氏名
連絡先	TEL : ()	
	FAX : ()	
	e-mail : @	
	担当者 (職・御氏名)	

申込締切：平成29年1月27日(金) 17:00

- ※ FAX(024-581-5163)またはe-mail(rs@fmu.ac.jp)にてお申し込みください。
- ※ 申込締切日を過ぎてお申し込みされる場合は、お手数でも以下の連絡先にご連絡いただけますと幸いです。
- ※ この申込書に代えて、上記必要事項をメール本文に記載の上、メールでお申し込みをされても結構です。

<連絡先>

〒960-1295 福島市光が丘1番地

福島県立医科大学 医療研究推進課 研究推進係 担当：佐竹・佐藤

TEL:024-547-1794 FAX:024-581-5163 e-mail:rs@fmu.ac.jp

The 1st International Symposium
of the network-type Joint Usage/
Research Center for Radiation
Disaster Medical Science

Scientific Underpinning for Restoration from a Radiation Disaster

Fukushima
Medical University

Hiroshima
University

Nagasaki
University

FEBRUARY
21 - 22
2017

*koujin Conference Hall on
Kasumi Campus,
Hiroshima University*

Feb 21 Tue

Keynote Lecture

Low dose radiation effects and health
risk research

Social impact of a radiation disaster
and radiological protection studies

Feb 22 Wed

Radiation casualty medicine

Werner Rühm(Germany)

session 1

**Tom Hei(USA)
Hiroshi Tauchi
Kensuke Otsuka
Michio Murakami**

session 2

**Sergey Shinkarev(Russia)
Masaharu Tsubokura
Takeshi Imoto
Noboru Takamura**

Poster Session

session 3

**Nicholas Dainiak(USA)
Marc Benderitter(France)
Yuji Yokouchi
Yukihito Higashi**

主催 ネットワーク型拠点
放射線災害・医科学研究拠点

広島大学原爆放射線医科学研究所
長崎大学原爆後障害医療研究所
福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター

お問い合わせ先

放射線災害・医科学研究拠点本部事務局
(広島大学霞地区運営支援部研究支援グループ)
Tel:+81-(0)82-257-5186
Mail:housai@hiroshima-u.ac.jp
<http://home.hiroshima-u.ac.jp/housai/>

**The 1st International Symposium of the network-type Joint
Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science
- Scientific Underpinning for Restoration from a Radiation Disaster –**

Sponsored by Research Base for Radiation Accidents and Medical Science

21 to 22 February 2017

Koujin Conference Hall, Kasumi Campus, Hiroshima University

21 February 2017 (Tuesday)

13:30-13:40 **Opening remarks**

13:40-14:40 **Keynote Lecture**

Werner Rühm (Helmholtz Center Munich, Germany) : TBA

14:40-16:30 **Session 1; Low dose radiation effects and health risk research**

Tom Hei (Columbia University Medical Center, USA) : Low dose radiobiology and relevance to human health

Hiroshi Tauchi (Ibaraki University) : Induction of somatic mutation by low dose/low dose rate radiation: Experimental analysis by using a hypersensitive system

Kensuke Otsuka (Central Research Institute of Electric Power Industry) : Cellular responses and gene expression profiles of colonic Lgr5⁺ stem cells after low-dose / low-dose-rate radiation exposure

Michio Murakami (Fukushima Medical University) : Utility of risk comparison regarding radiation as individual and social decision-making

Poster viewing

17:00-18:50 **Session 2; Social impact of a radiation disaster and radiological protection studies**

Sergey Shinkarev (FMBC, Russia) : Comparative analysis of the

countermeasures to mitigate exposure of the public to radioiodine following the Chernobyl and Fukushima accidents
Masaharu Tsubokura (Soma Central Hospital) : TBA
Takeshi Iimoto (The University of Tokyo) : TBA
Noboru Takamura (Nagasaki University) : For the recovery from the nuclear disaster: a model in Kawauchi village

22 February 2017 (Wednesday)

9:00-9:30 **Poster viewing**

9:30-10:30 **Poster session**

10:30-12:20 **Session 3; Radiation casualty medicine**

Nicholas Dainiak (Oak Ridge Institute for Science and Education, USA) : TBA

Marc Benderitter (IRSN, France) : TBA

Yuji Yokouchi (Fukushima Medical University) : Is it feasible to establish a tissue-specific stem cell bank derived from human iPS cells for emergency medical treatment of radiation casualties?

Yukihito Higashi (Hiroshima University) : Cutting-edge preparation of cell therapy for overcoming radiation-induced damages in humans

12:20-12:45 **Summary and closing remarks**



HIROSHIMA UNIVERSITY



平成23年度 文部科学省「博士課程教育リーディングプログラム」採択

放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

フェニックスリーダー育成プログラム産学官コンソーシアム
第2回国際シンポジウム

放射線災害復興を推進する 人材の育成とネットワーク構築



平成29年2月9日(木)
10:00~18:30

会場:東京国際フォーラム ホールD5
東京都千代田区丸の内3-5-1
TEL 03-5221-9000
www.t-i-forum.co.jp



【参加登録・意見交換会申込み・お問い合わせ】

広島大学フェニックスリーダー育成プログラム事務室
広島県東広島市鏡山1-1-1 TEL:082-424-2282
Mail: phoenix-program@office.hiroshima-u.ac.jp
URL: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/phoenixlp>



放射線災害復興を推進する人材の育成とネットワーク構築

現在、放射線は保健医療、農業、工業、先端科学技術など多くの産業分野で利用され、社会の発展に寄与することが期待されています。一方で、放射線利用の拡大に伴い、適正な放射線防護や放射線災害への備え、また、災害からの復興をリードする専門家の確保が必要です。

このシンポジウムでは、これまでに本プログラムを支援頂いた各組織をはじめ、企業や政府、大学や研究所そして国際機関から参加頂き、必要な人材像やその育成のあり方について議論することを計画しております。是非ご参加頂き、今後の社会の安心を支える人材の活用をご検討下さい。

Program

同時通訳あり

- 10:00 開催者挨拶** 越智 光夫(広島大学長)
- 10:05 来賓挨拶** 井上 睦子(文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室長)
- 10:10 プログラム紹介** 神谷 研二(広島大学副学長, フェニックスリーダー育成プログラム責任者)
- 10:25 基調講演** 伴 信彦(原子力規制委員会委員)
- 10:50 Session 1 国際機関のインターンシップと求める人材**
May Abdel-Wahab (国際原子力機関/IAEA 保健部部長, 広島大学客員教授)
Wolfgang Weiss (国連科学委員会/UNSCEAR 福島評価専門委員会元委員長)
Jacques Lochard (国際放射線防護委員会/ICRP 副委員長, 広島大学客員教授)
Thierry Schneider (フランス放射線防護評価センター/CEPN センター長)
- 12:00 記念撮影**
- 12:30 昼食/学生ポスター展示・発表開始(ロビー)**
- 13:30 Session 2 放射線災害復興に求められる人材の多様性**
Kai Vetter (米国ローレンス・バークレー国立研究所レジリエンス・コミュニティ研究所所長)
島田 義也(量子科学技術研究開発機構理事)
Albert Wiley (米国オークリッジ国立研究所放射線緊急時支援センター・研修施設/REAC/TS シニアアドバイザー)
Thomas Johnson (米国コロラド州立大学保健物理学科准教授)
嶋田 和人(宇宙航空研究開発機構/JAXA, 宇宙飛行士健康管理グループ主任医長)
- 14:45 休憩**
- 15:00 特別講演** Djarot Sulistio Wisnubroto (インドネシア原子力庁/BATAN長官)
- 15:20 Session 3 アジアにおける放射線防護, 放射線災害への備えと人材育成**
Vuong Huu Tan (ベトナム放射線防護・原子力安全庁/ VARANS元長官)
Hamrah Bin Mohd Ali (マレーシア科学技術革新省 原子力許認可委員会/AELB長官)
Rethy Chhem (カンボジア開発資源研究所所長)
齊藤 正樹(東京工業大学名誉教授/特命教授, グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント 教育院長/プログラムコーディネーター)
- 16:30 休憩**
- 16:45 Round Table ネットワークの構築-産学官が求める人材-**
経済産業省・資源エネルギー庁放射性廃棄物対策室, 原子力発電環境整備機構(NUMO)
電気事業連合会, 株式会社大林組, 鹿島建設株式会社, 五洋建設株式会社,
大成建設株式会社, 株式会社千代田テクノ, 一般社団法人福島県環境測定・放射能計測協会
- 18:25 閉会挨拶** 高田 隆 (広島大学/理事・社会連携室)

シンポジウム終了後、意見交換会(会費制)を開催いたします。場所、会費等詳細は、お申込み頂いた方に別途ご連絡いたします。



HIROSHIMA UNIVERSITY 広島大学

Phoenix Leader Education Program (Hiroshima Initiative) for Renaissance from Radiation Disaster

放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

The 6th International Symposium

第6回国際シンポジウム

Reconstructing Radiation-Affected Communities:

The Mediator's Role in the Recovery Process

原発事故の影響を受けたコミュニティの再構築:

復興過程における「仲介者」の役割



February 11 (Sat) -12 (Sun), 2017

Hiroshima University Koujin Kaikan Conference Hall (1-2-3 Kasumi, Minami-ku,
Hiroshima City, Hiroshima, Japan)

Registration <<https://www.hiroshima-u.ac.jp/en/phoenixlp/news/36958>>

Admission: Free

平成29年2月11日(土)~12日(日)

広島大学広仁会館(霞キャンパス, 広島県広島市南区霞1-2-3)

参加登録 <<https://www.hiroshima-u.ac.jp/phoenixlp/news/36933>> 参加費: 無料



Reconstructing Radiation-Affected Communities: The Mediator's Role in the Recovery Process

原発事故の影響を受けたコミュニティの再構築：復興過程における「仲介者」の役割

The people of Japan have made a concerted effort to the ongoing reconstruction of Fukushima along with the support of people from around the world. Despite these extensive efforts, it can be said that the reconstruction has just begun. The 6th International Symposium will focus on the role of the mediator during the Fukushima recovery process to bridge the gap that exists between scientists and the local community.

福島原発災害後の復興にあたり、現在も国内外の多岐にわたる分野から、多くの支援と努力が続けられていますが、復興への道のりは緒に就いたばかりとも言えます。そこで、第6回を迎える本国際シンポジウムでは、福島の復興過程における「仲介者」の役割に注目し、研究者と地域社会とのギャップを埋めるための議論を行う予定です。

<DAY2 第2日目>

基調講演 Keynote Lecture

Jacques Lochard (Vice-Chair of ICRP, Visiting Professor at Hiroshima University 国際放射線防護委員会副委員長, 広島大学客員教授)

講演 Lecture

Ryoko Ando 安東量子 (Representative of Ethos in Fukushima 福島のエトス 代表)

Akihiko Hirono 廣野晶彦 (Flower Farmer in Fukushima 福島県 花卉農家)

Momo Kurihara 栗原モモ (Phoenix Leader Education Program Alumna / Post-Doctoral Researcher of AIST フェニックスリーダー 育成プログラム修了生・現産総研特別研究員)

Yuzo Mampuku 万福裕造 (NARO 農業・食品産業技術総合 研究機構)

Sanae Midorikawa 緑川早苗 (Fukushima Medical University 福島県立医科大学)

Makoto Miyazaki 宮崎 真 (Fukushima Medical University 福島県立医科大学)

Ohtsura Niwa 丹羽太貴 (Chairman of RERF 放射線影響 研究所 理事長)

Atsuko Suzuki 鈴木敦子 (Social Welfare Council of Minami Soma City 南相馬市社会福祉協議会)

Kai Vetter (Director, Institute for Resilient Communities, Lawrence Berkeley National Laboratory)

Wolfgang Weiss (Former Head of BfS, Former Chair of Coordination Expert Group for the Fukushima Assessment of UNSCEAR)

Tetsuo Yasutaka 保高徹生 (Chief Scientist of AIST 産業技術総合研究所 主任研究員)

パネルディスカッション Panel Discussion

May Abdel-Wahab (IAEA, Director of Division of Human Health)

Thomas E. Johnson (Head of Radiation Protection and Measurements Section at Colorado State University)

Thierry Schneider (Director of CEPN, France)

Albert L. Wiley (Medical and Technical Director, REAC/TS)

*Alphabetical Order アルファベット順

プログラム

第1日 平成29年2月11日(土)(英語)

12:30~ 開会式

12:35~ 大学院生口頭発表・フラッシュ発表・ポスター発表(英語)

18:30~20:30 意見交換会/レセプション

第2日 平成29年2月12日(日)(日本語/英語)

*同時通訳あり

10:00~ 開会式

10:15~ 基調講演

10:45~ 講演

15:50~ パネルディスカッション

17:20~ ポスター発表表彰式・閉会式

Program

Day 1: Saturday, February 11, 2017 (English)

12:30~ Opening Remarks

12:35~ Student Oral/Flash/Poster Presentation

18:30~20:30 Reception Party

Day 2: Sunday, February 12, 2017 (English/Japanese)

*Simultaneous translation provided

10:00~ Opening Remarks

10:15~ Keynote Lecture

10:45~ Lectures

15:50~ Panel Discussion

17:20~ Poster Award Ceremony, Closing Remarks

お問い合わせ/参加登録:

広島大学フェニックスリーダー育成プログラム事務室
〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1

Inquiry/Registration:

Hiroshima University Phoenix Leader Education Program Office
1-1-1 Kagamiyama, Higashi Hiroshima, Hiroshima 739-8524

TEL: 082-424-6821 E-mail: phoenix-program@office.hiroshima-u.ac.jp